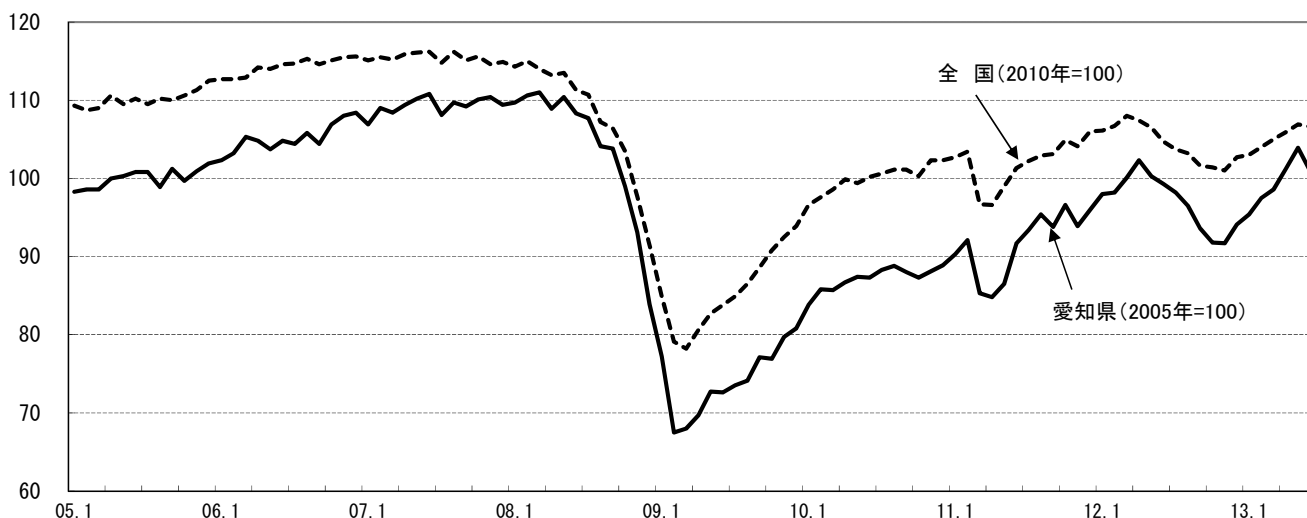


「あいちの経済（平成 25 年度版）」の概要

1 愛知県経済（緩やかな回復へ向かった愛知県経済）

2012 年度の本県経済は、前年に東日本大震災やタイの洪水被害など内外の自然災害の影響を受けて大きく落ち込んだ生産活動が、自動車のサプライチェーンの修復により増産に転じた。しかし、自動車産業の「挽回生産」が一巡し、海外経済の減速や日中関係の悪化、さらにエコカー補助金の終了などの状況を背景に一時的に減産となった。年末からは円高是正の動きにより、生産活動は再び持ち直しに転じ、その後も堅調に推移し、本県の景気は緩やかに回復へ向かった。

景気動向指数一致 C I（Composite Index）の推移

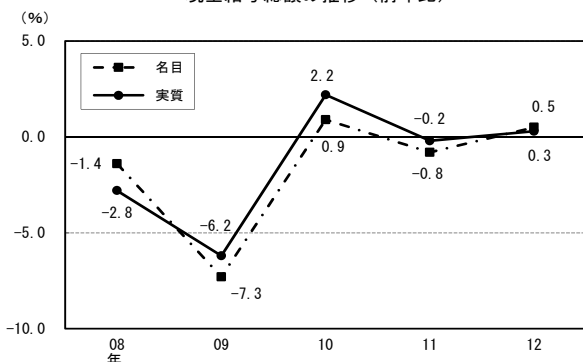


資料：内閣府「景気動向指数」、愛知県統計課「あいちの景気動向」

2 個人消費（堅調に推移した個人消費）

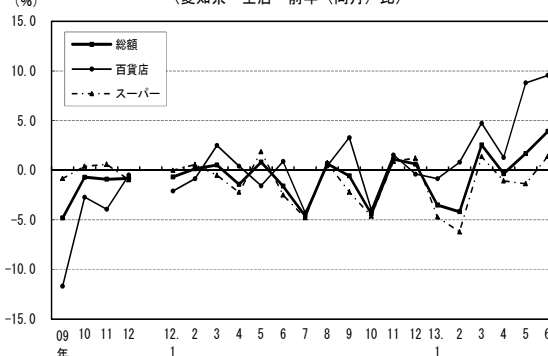
12 年の個人消費は、エコカー補助金等の政策効果や消費マインドの改善に伴うサービス消費の拡大により、前半は堅調に推移し、後半はエコカー補助金の効果一巡により、おおむね横ばいの動きとなった。1人当たりの賃金は、名目、実質とも前年を上回り、勤労者世帯1世帯当たりの可処分所得は前年を上回ったが、消費支出は前年を下回った。大型小売店販売額は、百貨店、スーパーともに前年を下回り、合計でも5年連続で前年を下回った。

現金給与総額の推移（前年比）



資料：愛知県統計課「毎月勤労統計調査」

大型小売店販売額の推移
(愛知県・全店・前年(同月)比)

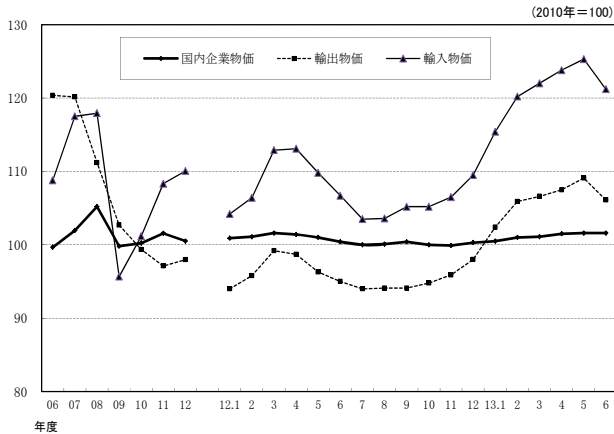


資料：経済産業省「商業動態統計調査」

3 物価（下落した企業物価と消費者物価）

12年度の物価は、企業物価（全国）は中国など海外経済の減速による需要減退や国内企業間の価格競争を背景に3年ぶりに下落した。消費者物価（名古屋市）はエネルギー価格が上昇したものの、耐久消費財の下落が続いたことから4年連続で下落した。

企業物価指数の推移



資料：日本銀行「企業物価」

消費者物価指数の推移(名古屋市)

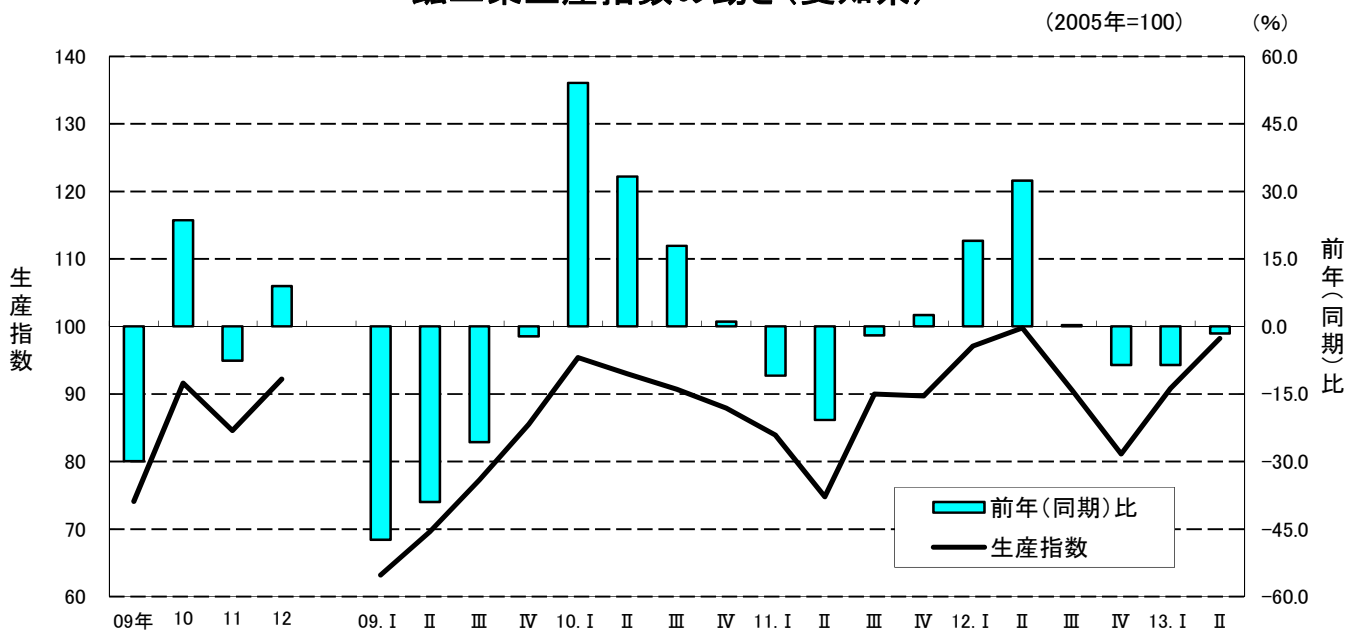


資料：愛知県統計課「名古屋市消費者物価指数」

4 生産活動（持ち直しの動きがみられた鉱工業生産）

12年の生産は、前年12月に復活したエコカー補助金により、年前半は輸送機械の生産が増加し、回復の動きがみられた。補助金終了後に減産となったものの、その効果は大きく、総じてみると回復基調で推移し、鉱工業生産指数は前年を上回った。

鉱工業生産指数の動き(愛知県)

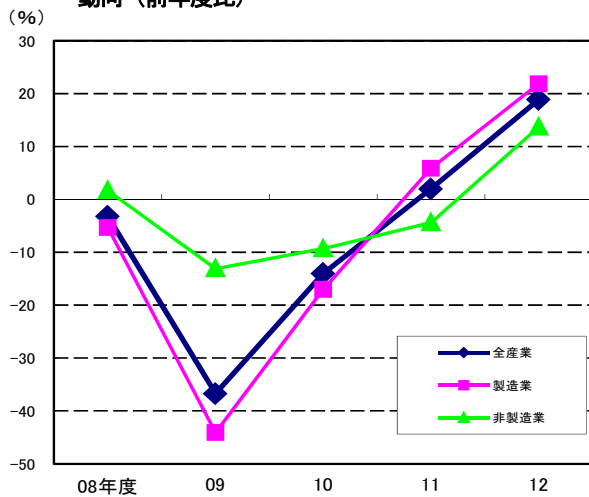


資料：愛知県統計課「愛知県鉱工業指数」

5 設備投資（大企業・中堅企業、中小企業で増加した設備投資）

12年度の東海地域（愛知、岐阜、三重、静岡）の大企業・中堅企業の設備投資の動向をみると、製造業は前年度比21.9%増、非製造業は同13.7%増となり、全産業で同18.9%増と2年連続の増加となった。中小企業（愛知、岐阜、三重）は、製造業が同35.1%増、非製造業は同20.0%増と、ともに2年ぶりに増加した。

東海地域における大企業・中堅企業の設備投資動向（前年度比）



資料：日本政策投資銀行東海支店「東海地域設備投資動向調査」

企業規模別設備投資動向（東海3県）

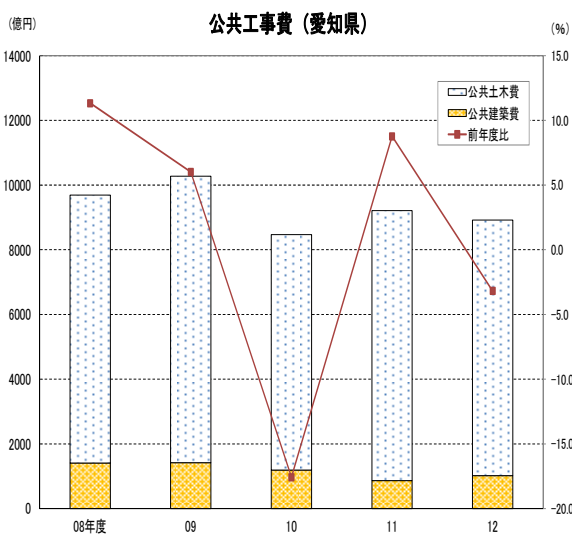
(対前年度増減率 %)

	08年度	09	10	11	12
製造業	-10.8	-49.9	2.5	4.6	12.1
大企業	-10.3	-51.3	3.9	3.7	12.6
中堅企業	-5.7	-35.3	-11.3	16.8	2.9
中小企業	-47.2	-37.1	7.0	-8.4	35.1
非製造業	-0.3	-5.8	3.6	0.2	12.9
大企業	-0.4	-4.8	0.6	2.9	12.1
中堅企業	23.8	-25.0	49.3	-40.9	29.3
中小企業	-16.5	-0.1	42.3	-6.9	20.0

資料：日本銀行名古屋支店「企業短期経済観測調査結果」

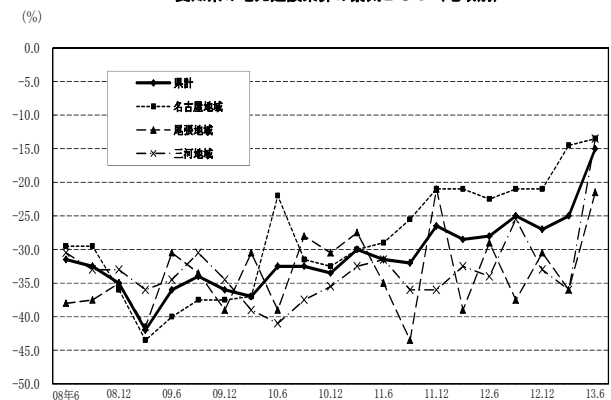
6 公共工事（低水準で推移した公共工事）

12年度の公共工事は、公共建築が前年度比17.9%増と3年ぶりに増加し、公共土木が同5.4%減と2年ぶりに減少し、合計では同3.3%減と2年ぶりに減少した。一方、地元建設業界の景気マインドは90年4-6月期から13年4-6月期まで連続してマイナスとなっており、依然厳しい状況が続いている。



資料：国土交通省「建設総合統計年度報」

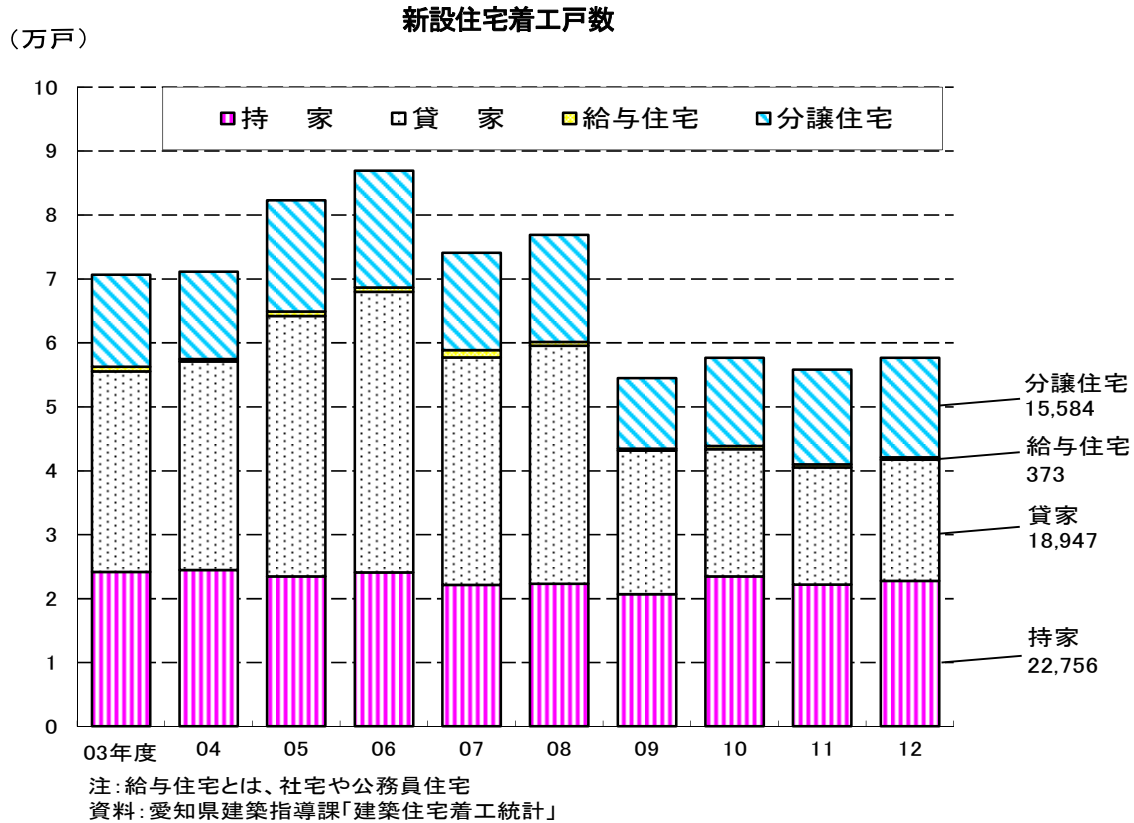
愛知県の地元建設業界の景気BSI（地域別）



注：景気BSI = (前期に比べ、業況が「良い」-「悪い」の企業の割合) / 2
資料：東日本建設業保証（株）「建設業景況調査」

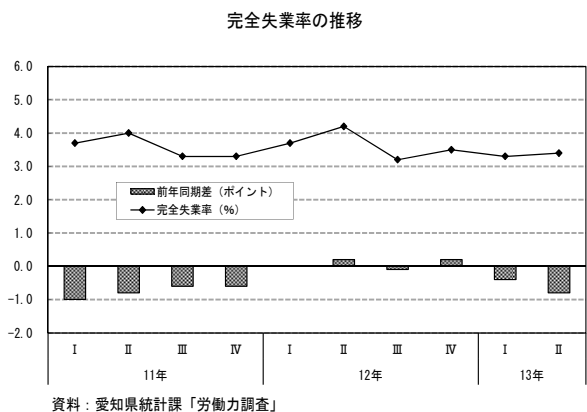
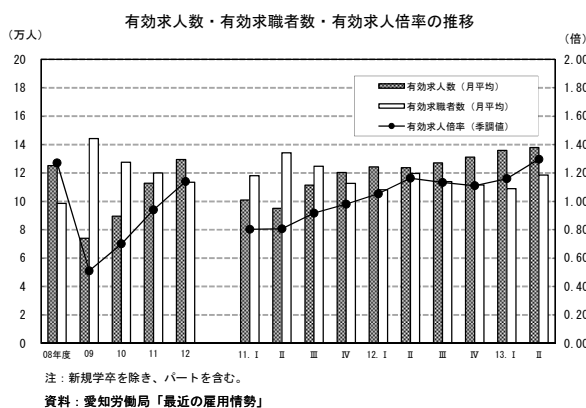
7 住宅建設（再び増加した住宅建設）

12年度の住宅建設は、新設住宅着工戸数が前年度比3.4%増の57,660戸と2年ぶりに増加した。利用関係別の内訳では、持家、貸家、分譲住宅は前年度を上回ったものの、給与住宅は前年度を下回った。



8 雇用（改善の動きがみられた雇用情勢）

12年の雇用情勢は、依然として厳しい状況が続いているものの、改善の動きがみられた。完全失業率は前年より0.1ポイント高い3.7%と3年ぶりに悪化し、雇用保険受給資格決定件数も3年ぶりに増加した。一方、有効求人倍率は緩やかな回復が続き、現金給与総額と総実労働時間はそれぞれ2年ぶりに増加し、常用労働者数は4年ぶりに増加した。



9 企業経営（持ち直した企業経営）

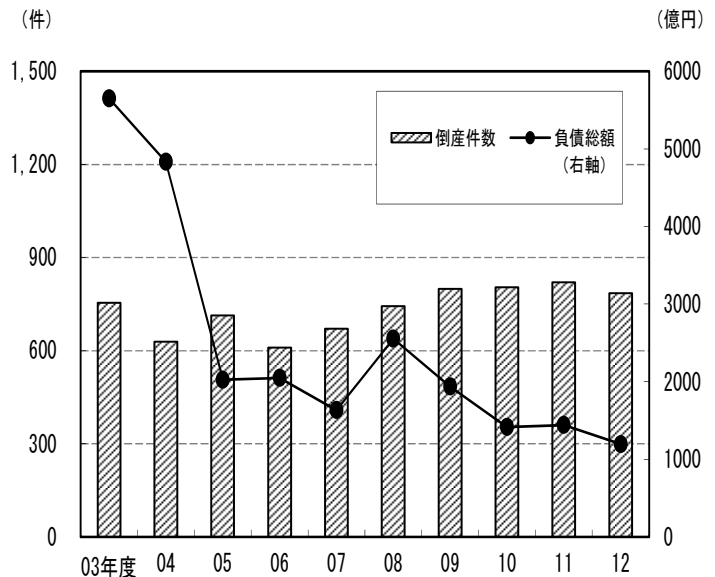
12年度の東海3県の企業の状況をみると、12年度途中に日中関係の悪化や欧州向け輸出減少の影響を大きく受けたものの、最終的に売上高が増収となり、業況判断も改善した。県内の企業倒産は、倒産件数は6年ぶり、負債総額は2年ぶりに減少し、過去10年のうちで最も低水準となった。

東海3県企業の業種別売上高・経常利益

	(2012年度)	
	売上高	経常利益
	(前年度比)	
製造業	8.5	2.3倍
食料品	0.9	-29.0
繊維	-3.4	-33.9
木材・木製品	9.0	21.7
紙・パルプ	-1.2	-2.2
化学	0.2	16.0
窯業・土石製品	-2.6	-9.9
鉄 鋼	-12.8	-77.0
非鉄金属	-2.0	22.4
金属製品	-0.3	-13.7
はん用機械	3.9	-5.0
生産用機械	-8.2	-11.3
電気機械	-4.9	-5.0
自動車	12.5	3.3倍
その他輸送用機械	-2.1	-33.9
内 需	5.1	-
輸 出	15.3	-
非製造業	1.6	20.5
建 設	4.8	48.9
不動産	-1.8	10.4
物品賃貸	4.9	31.0
卸 売	-2.0	-7.4
小 売	2.4	0.8
運輸・郵便	3.2	23.4
情報通信	1.4	2.5
電気・ガス	8.2	欠損
対事業所サービス	2.3	0.1
对个人サービス	8.4	33.5
宿泊・飲食サービス	4.1	13.1
全 産 業	5.7	85.2

資料：日本銀行名古屋支店「東海3県の企業短期経済観測調査結果」

企業倒産の推移（愛知県）



資料：㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海3県下企業倒産動向」

10 貿易（拡大した貿易黒字）

12年の県内貿易港4港の状況は、輸出額は前年比9.9%増の12兆1908億円と2年ぶりに増加した。名古屋港と三河港、衣浦港が増加する一方、中部空港は減少した。輸入額は同5.6%増の6兆1375億円となり、3年連続の増加となった。これにより貿易収支は、同14.6%増の6兆533億円の黒字となった。

県内港の貿易額の推移

